

Rehabilitation Recruit Guide

平成医療福祉グループ

リハビリテーション部 採用案内

絶対に 見捨てない。

患者さん・利用者さんのために良いことを、
どうすれば実現できるのか—。
できない理由を探すのではなく、必死で考え続ける。
私たちは、この理念のもと、邁進していきます。

平成医療福祉グループ

8の 行動指針

- 1 | 見て見ぬふりをしません
- 2 | 患者さん・利用者さんの
QOL向上を最も大切にします
- 3 | 患者さん・利用者さんにとって
良いことは損をしてでもやります

- 4 | 職種や専門性、制度や
常識の枠組みを超え、
不安や困難を抱えている人を
あらゆる方法で支援します
- 5 | 経験や常識にとらわれず
新しいことに挑戦します

- 6 | 多様な価値観を尊重し、
あらゆる差別をしません
- 7 | 職種別ヒエラルキーをなくし、
全ての職種が対等に対話できる
心理的安全性の高い組織を作ります
- 8 | 医療福祉のデータ集積・研究・発信を続けます



理念

「絶対に見捨てないリハビリテーション」

私たちは「豊富な知識」を追求し、「確かな技術」を研鑽し、
「絶対に見捨てない想い」を胸に、リハビリテーションを提供します。

教育方針

社会人としての自覚形成に努め、
医療人としての使命と、
専門職としての誇りを備えた、
人間味あるセラピストを目指します。



Career Interview

リハビリテーション統括本部長に、療法士になったきっかけや、
グループのリハビリテーション部についてインタビューを行いました。

**「こんなことをやりたい」と
チャレンジ精神を持って、
いい意味で困らせてくれる人を
歓迎します。**

機械と向き合う日々から、 人と接する仕事を求めて

私はもともと工学系の大学に通い、卒業後は機械のメンテナンスや設置の仕事をしていました。機械と向き合う日々を過ごしながら思ったことは「人と接して、話をする仕事が好きだ」ということ。そこで、大学の同級生からの勧めもあって資格を取り、理学療法士として当グループの博愛記念病院に入職しました。現在はマネジメント業務が大半ですが、週に一回は必ずリハビリテーションの現場に立っています。そこが自分の原点だと考えているからです。指導を行う際にも、現場に関わっていなければ説得力がありません。今後も立ち続けていきたいです。

絆を深めて仕事の質を向上

私が入職した2004年にはグループ全体で数十人程度だったリハビリテーション部も、今では約1600人。

かなり大規模になりましたが、できるだけ長く働いてもらえるような環境を作り、仕事の質を高めていきたいと考えています。そのためには横のつながりを強めて「仲間」を作ることが大切です。そこで2016年頃から、部内でチームや委員会を作り、全国的につながれる場を設けてきました。結果、病院や地域の枠を超えて絆が生まれ、お互いを高め合える環境が整ってきたと思います。

豊富なキャリアサポートで応援

中堅になったスタッフの中には、別の場所に目を向けグループを離れる人もいますが、辞めずに活躍してもらうためには、グループ内で新しいチャレンジの道を提示できることが重要です。例えば別形態の施設に移ることもできますし、キャリアチェンジとして施設長や教員になることも可能です。培った経験や想いを持ったりハビリスタッフが色々な場所で活動することは、現場にも良い影響があり、患者さん・利用者さんにも還元されると思っています。もちろん、現場の仕事を続けていくリハビリスタッフへのサポートも行っています。スキルアップのための研修や資格取得の支援制度もあるほか、そうした結果

が給与面に反映されるのも、当グループならではの強みです。

リハビリスタッフとして大切なこと

大切なのは「目の前の現象に常に疑問をもち、変化に気付く視点を養い、回復への可能性を探ること」です。私たちの専門性は臨床推論のうえに存在します。私の考える一流のリハビリスタッフとは、「優しさや礼節のある接遇で患者さん・利用者さんに接することができる」「根拠に基づく臨床推論を展開し、確かな技術で治療を提供できる」「そういった内容を患者さん・利用者さんや、そのご家族、医療チームにきちんと説明できる」、そんな人物だと思っています。

一緒に高め合っていきたい

これから仲間になるみなさんにお伝えしたいのは、知識や技術は、やる気と努力があれば臨床経験の中でついてくるものだ、ということです。それよりも「こんなことをやりたい」と、チャレンジ精神を持って、いい意味で困らせてくれる人を歓迎します。そういった人が増えると、私たちも「もっとがんばらなきゃ」と思われます。お互い高め合っていきたいですね。

統括本部長

池村 健

Ikemura Takeshi



エリア部長
(関東エリア)

裴 東海
Pei Tonhe



知らないことやできないことがあっても、成長するチャンスと捉えることが大切です。

私は、仕事を行ううえで考えていることがあります。それは、常に成長する・できると思いたいことです。恥ずかしながら、私自身今でも知らないことやできないことが多くあります。それを自分の能力・才能がないと思うのではなく、「成長するチャンスがあるんだ!」と思考を変えるだけで大きく変化します。ぜひ、前向きに仕事をしたい、成長したいと考えているなら、きっと我々のグループは合うと思います。一緒に働きましょう!

自覚と責任を持って従事することが医療人としても、いち社会人としても重要です。

私は作業療法士として患者さん・利用者さんが求める姿を取り戻せるように日々臨床に臨んでいます。障害を持った機能を改善するだけでなく、残された機能にも着目し、良い点を活かすという視点も重要です。色々な視点で捉え、疑問を持ち、しっかりと考え、取り組み、振り返るというサイクルを意識し、自覚と責任を持って従事することが、医療人としても、いち社会人としても重要なことだと思っています。この先、あなたにしかできない仕事がきっとあると思います。可能性を秘めたみなさんと一緒に働けることを楽しみにしています。

エリア部長
(淡路・中四国エリア)

山内 匡也
Yamauchi Masaya



Career Interview

各エリアで活躍するエリア部長、部長に、リハビリテーション部の特長について聞きました。

エリア部長
(関西エリア)

横川 武
Yokogawa Takeshi



共に学び、共に歩む仲間を強く求めています。

私は理学療法士として、急性期・回復期・慢性期(生活期)のさまざまな領域におけるリハビリテーションに従事してきました。その経験を踏まえて、リハビリテーションに関わる一人ひとりが、これから押し寄せてくる超高齢化社会に対して、いま何をすべきかを考えることが重要かと思っています。当グループのリハビリスタッフは、一人ひとりが専門職として知識・技術を高め、障害者や高齢者が生き生きと過ごすことができる社会生活を目指して努力しています。これからの時代に必要とされるリハビリスタッフとして、共に学び、共に歩む仲間を強く求めています。

たくさん仲間と出会え、成長できます!

私は、病院から在宅分野のリハビリテーションに携わり、通所リハビリ・通所介護の責任者を経験し、現在は豊中平成病院で部長を務めています。たくさんのセラピストと関わる機会の中で、豊かな個性、高い専門知識、熱い情熱を持った仲間と出会うことができました。そして、その仲間同士もつながりを持ち、より大きな力を発揮しています。そんな心強い仲間がたくさん存在するグループだからこそ、あなた自身が成長できる環境があると思います。笑顔の絶えない職場で、共に働き、成長して「絶対に見捨てないリハビリテーション」を提供しましょう。

部長

畑中 仁志
Hatanaka Hitoshi



絶対に見捨てないプロジェクト

グループ全体の大きな取り組みとして、
 「身体抑制の廃止」「食事への楽しみ」「積極的な離床」「排泄機能の回復」
 「摂食・嚥下機能の回復」「多剤内服の防止」の6つを推進しています。
 これらを理念にのっとり「絶対に見捨てないプロジェクト」として、
 グループ全体で取り組んでいます。

身体抑制は、廃止します。

BAD

GOOD

平塚医療福祉グループ

みんなに嬉しい食事を。

BAD

GOOD

平塚医療福祉グループ

目的を持った離床を。

BAD

GOOD

平塚医療福祉グループ

「自分でトイレ」を、応援します。

1

2

3

4

平塚医療福祉グループ

「口から食べる」を、応援します。

1

2

3

4

平塚医療福祉グループ

多剤内服には、させません。

1

2

3

4

平塚医療福祉グループ

Rehabilitation efforts



リハビリテーション部では、
 より良い医療を提供するために、
 グループ全リハビリスタッフの
 自己研鑽を応援しています。

臨床場面での取り組み

部門の理念を実践するためチームを結成し、目標・課題・プログラム・アウトカムなどを検討してグループ全体へ展開し、現場を牽引しています。

ST推進チーム

摂食・嚥下機能が低下し食事ができなくなると、口から栄養が摂れないだけでなく、食べる楽しみが奪われてしまいます。当グループでは入院早期から言語聴覚士を中心にアプローチをして摂食・嚥下機能を評価し、評価結果に従って適切な食事を選択し訓練を進めます。



膀胱・直腸リハビリチーム

在宅復帰を果たすために特に重要となるのが排泄の自立です。排泄が自立できないと意欲的に何かに打ち込むことも難しくなります。自らの意思で、自らトイレで排泄を行う。この当たり前の行為を入院後早期から行えるように全力でサポートしています。



離床促進チーム

日常的に離床することは本人の主体性を促し、生活の質の向上とともに心身機能への良い影響が期待されます。当グループでは食事や入浴などの生活行為による離床のほか、季節の行事や作業活動など楽しみを目的とした離床活動を積極的に取り入れています。



ロボットリハビリチーム

現在、ロボットを使ったリハビリテーションが徐々に浸透しつつあります。あくまで選択肢のひとつですが、あると無いとは大きな違いがあります。当グループではHAL®とHonda歩行アシストを積極的に取り入れ、攻めのリハビリテーションを展開しています。



小児リハビリチーム

ことばや運動がゆっくり、不器用、落ちつきがない、読み書きが苦手など、発達が気になるお子さん、重度の知的障害や肢体不自由のお子さんの成長を支援します。リハビリスタッフとの個別訓練を通して発達を促し、生活の中でできることを増やしていきます。



ホームワークチーム

患者さん・利用者さん一人ひとりに応じたホームワーク（自主練習）を提供しています。患者さん・利用者さんが生活のなかでしたいこと・できることを獲得するため、ニーズを共有しながら高いモチベーションで楽しくホームワークが行えるよう、全力で支援します。



フレイル対策チーム

PostAcuteを担うグループ関連病院へリハビリテーション目的で入院した患者さんを対象に、フレイルおよびサルコペニアの罹患率を調査しています。その結果をもとに効果的な介入方法を模索すべく、本年度は介入研究を予定しています。



OT推進チーム

作業療法の専門性と可能性を追求し、質の高い作業療法を実践するために創設されたチームです。エビデンスに基づく評価・訓練を推奨しながら、クライアントの意思決定を尊重し、作業を通じてその人らしい生活を取り戻せるように、チームとして全力でサポートしていきます。



研究場面での取り組み

慢性期医療の現場における治療やリハビリテーションの効果を根拠あるものとして、学会発表や論文発表を行い、世の中へ発信・提言しています。

当グループにおける治療やリハビリテーションの効果をより明確な形で発信するために、2017年に慢性期医療研究室を発足しました。私たちの日々の取り組みがもたらす効果は、膨大かつ有用なデータとして蓄積されています。医師の指導のもと、研究計画から実践、分析、論文作成、発表までを専門の研究室が支え、エビデンスの構築と世の中への発信を行っていきます。現在、摂食・嚥下リハビリ、排泄リハビリ、離床の取り組みの研究が進められています。



運営場面での取り組み

リハビリテーション部では、全病院・施設のリハビリスタッフと同じ情報を共有し協働できるよう委員会を発足しています。

【臨床管理委員会】

臨床管理委員会では、リハビリテーション中に起きる事故を防ぐための取り組みや、リハビリ機器の把握、最新の治療機器の情報提供やマニュアルの作成などを行っています。みなさんが効率よく安全にリハビリテーションを行えるようにサポートするのが、当委員会の役割です。



臨床管理委員長
明松 春水

【総務委員会】

リハビリテーション部全体の配置表管理、異動情報、求人情報、営業情報、就職フェア情報、広報（パンフレット・ホームページ）など、リハビリスタッフ全体の動きを把握し、スムーズな人事情報を把握、更新、管理し、迅速に共有を行い、みなさんの働きやすい環境をサポートする委員会です。



総務委員長
畑中 仁志

【RDA委員会】

目まぐるしく変わる日本の医療・介護制度に対応し、リハビリテーションに関わるデータの集積や管理、分析を行っています。各種研究チームのデータサポートなども行い、学会発表や論文投稿の一助となるよう、日々活動しています。



RDA委員長
柳本 麻里

【教育研修委員会】

リハビリスタッフの育成を目的に、教育研修に熱意あるメンバーで構成されています。主な取り組みとして、1年次から5年次までに学んでほしい内容を一覧化し、各施設にスライドの配信と、e-ラーニングによる受講も行えるようにしています。リハビリテーション部の教育環境をより一層整えていきたいと思っております！



教育研修委員長
西村 卓也

【学術委員会】

患者さん・利用者さんへの治療法は日々進化します。進化のためのヒントは毎日の業務のなかにあり、そのまめとして研究活動を行うことも大切です。当委員会では、各種学会での発表や専門誌への論文投稿など、研究活動に取り組みやすくするための体制作りを行い、自己研鑽活動をサポートしています。



学術委員長
長谷川 奨斗

新人教育プログラム

当グループリハビリスタッフの新人教育プログラムをご紹介します。就職後のイメージを膨らませてみてください。

1 新人教育カリキュラム

新人教育カリキュラムは、当グループのセラピストの教育水準の向上を目的に作成されています。1年次から3年次を新人教育課程（基礎コース）、4年次から5年次を指導者教育課程（指導者コース）とし、5カ年のプログラムとなっています。

No.	実施時期	1年次カリキュラム
001	4月	リハビリテーションの理念
002	4月	接遇・ビジネスマナー・電話対応
003	4月	職業倫理
004	4月	感染対策
005	4月	高齢者のリハビリテーション
006	4月	PT・OT・ST・チームアプローチについて
007	4月	BLS対応について
008	4月	リスク管理・KYT
009	4月	トランスファーについて

e-ラーニングの受講

当グループで作成したe-ラーニングは、グループの専用サイトからいつでも、どこからでも教育カリキュラムを視聴することができます。

充実した履修カリキュラム

基礎コース（1～3年次向け）、指導者コース（4～5年次向け）、専門コース（ロポリハ、小児リハ等）

いつでもどこでも学習できる

グループ専用サイトから、PC・スマートフォンで視聴可能なので、自分の都合に合わせて学習ができます。



各分野のスペシャリストがわかりやすく解説

グループの専門チーム監修の臨床経験に基づいた知識や知見を紹介いたします。

それぞれの分野の実技動画を掲載

各専門分野のスペシャリストが実技動画を紹介。動画は順次アップする予定です。



2 プリセプターシップ

プリセプター（経験ある指導役の先輩リハビリスタッフ）が、リハビリテーションの知識や技術だけでなく、業務全般のフォローを行います。困った時のちょっとした相談役は、とても心強い存在です。



どんどんご利用ください！ 資格取得の後押しをする 研修補助や資格手当

当グループには、常に自己研鑽を積むスタッフが多数在籍しています。自身のスキルアップはチーム力の向上につながりますが、その目的はただひとつ、患者さん・利用者さんへの還元です。2017年からは、グループが推奨する認定や専門の資格には資格手当の付与も始まりました。

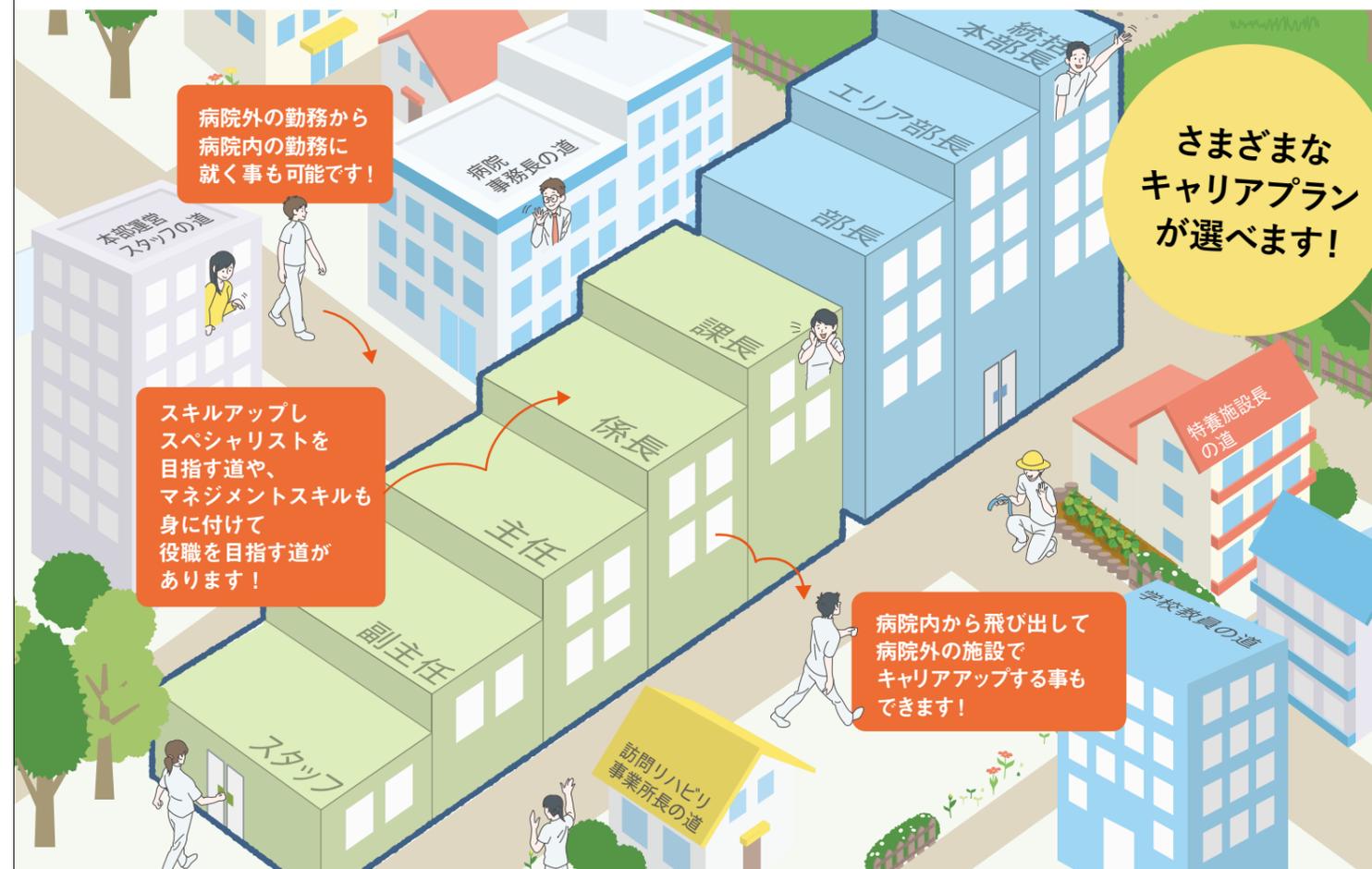
資格手当対象
呼吸療法認定士（97名） 糖尿病療養指導士（56名） 心臓リハビリテーション指導士（2名） 摂食嚥下リハビリテーション認定士（11名） 認定理学療法士（75名） 認定作業療法士（1名） 認定言語聴覚士（5名）
（）内は2021年6月時点の取得者数

※取得資格一覧はp41に掲載

キャリアパスについて

当グループのキャリアパスは一つだけではありません。配属先でのキャリアアップはもちろん、他施設、訪問事業所、本部の運営スタッフになるなど、さまざまなキャリアプランを用意しています。

1st STEP	2nd STEP	3rd STEP	4th STEP
1年目 【半年後】 3～4名の患者さんを担当し18単位の関わりを持つ 【1年後】 5～6名の患者さん・利用者さんを担当 <ul style="list-style-type: none"> 医療人としての自覚形成 接遇・身だしなみの徹底 診療報酬の把握 新人研修プログラムへの参加 	2年目 <ul style="list-style-type: none"> リハビリ科内での役割を形成 カンファレンス等での発言ができる 見学実習生の一部指導 各協会での新人症例発表 	3年目 <ul style="list-style-type: none"> 病棟チーム・ユニット内でのリーダーまたはサブリーダー業務を経験する 評価実習生のケースバイザー 各協会や日本慢性期医療学会、慢性期リハビリテーション学会での発表 	4年目 <ul style="list-style-type: none"> 院内で各種委員会にメンバーとして関わる 役職者としてのステップアップを目指す 長期臨床実習生のスーパーバイザーを経験 グループ研究発表のリーダー的役割を果たす
5th STEP	6th STEP	7th STEP	
5～6年目 臨床業務においての後輩指導 医療保険・介護保険分野での経験を積む <ul style="list-style-type: none"> 認定/専門領域療法士の取得や各種資格取得に努める 学会発表を通して後輩指導を行う グループ研究のリーダー 協会/士会活動への参加 	7～9年目 <ul style="list-style-type: none"> 他部署、他病棟チームとの連携・調整 チームリーダーの育成 役職業務を担う グループリハビリ部門の委員会活動や研究チームへの参入を目指す 協会/士会活動で役割を担う 役職やリーダーとして他院へのヘルプ 	10年目以降 <ul style="list-style-type: none"> 院内の各種委員会や委員長の担当 院内組織の要職を担当する 地域とのつながり強化に努める 役職者は次候補者の育成 リハビリ部門の委員会活動や研究チームの主軸を担う グループ他院との研修異動の促進・調整役を担う 	



理学療法ってやっぱり面白い！

PTの特長

「PTの仕事って面白いね！」そう思っている仕事がこのグループにはあります。学生の時に思い描いていた理想と臨床の現場は違います。でも、それがまた面白いのです。面白さだけでなく、さまざまなフィールドで活躍でき、社会貢献できる最高の仕事です。

日々の業務で患者さん・利用者さんからいただく「できた！ 楽になった！ 痛みがなくなった！ ありがとう！」。その声が理学療法士にとって最高の宝物です。喜び、わくわく感、悔しさ、この感情が理学療法士としての自己を高めるエッセンスなのかなと感じます。「目の前の患者さん・利用者さんの身体機能や動きに良い変化を与えたい！」「患者さん・利用者さんが笑って生



活する姿を見たい！」「早く元の生活に戻ってもらえるようにできることをしたい！」そう思いながら、問題点が何かを日々悩み、考え、実行し、違っていればまた考える。臨床場面では仮説・検証の繰り返しだと思います。何年たってもその過程は変わりませんが、知識の量、思考の仕方、洞察力などが年々変わっていることを実感します。自分で考えてわからないことは、同じフィールドの仲間や違ったフィールドで活躍する仲間に相談することもあります。日々試行錯誤しながらがんばる理学療法士がこの場所にはたくさんいます。私たちは患者さん・利用者さんの意欲を上げながら、その方に適したホームワーク(自主練習)



を行ってもらう、いわゆるコーチ役としての的確なアドバイスを行い、ゴールへの最短の道を示さなければなりません。リハビリテーションは当グループの治療戦略の大きな柱のひとつであり、最新のリハビリ機器の導入や、リハビリスタッフの育成を図るため学術研鑽の場も充実しています。自己を高めていける環境がここにはあります。もっと多くの仲間と共感し、切磋琢磨しながらリハビリテーション部を盛り上げていきたいと思っています。一人でも多くの患者さん・利用者さんに笑顔を提供するため、そして日本のリハビリ医療を発展させるため、私たちと一緒に真剣に、熱く、楽しく働きましょう！

プリセプター × プリセプティ

理学療法士

対談

岸和田平成病院の理学療法士コンビにインタビュー。
慎重派の性格で似たもの同士、じっくりお話ししてもらいました！

※プリセプター：経験ある指導役の先輩スタッフ ※プリセプティ：新人スタッフ



先輩
プリセプター
田村 一真
(経験年数3年)



後輩
プリセプティ
尾崎 恵介
(経験年数1年)

田村 入社して1年が経つけど、仕事をやってきて楽しかったこととか、逆にしんどかったことはある？

尾崎 楽しかったのは、やっぱり自分の考えた治療の仕方で患者さんが少しずつ良くなっていくのが実感できたことです。でも、教科書の通りにはいかない患者さんが多かったのが、「最初にまず何をやらせたいんだろう」と思うことがよくあって、そこは大変に感じました。

田村 そうだね、まず誰もがぶつかる壁やと思う。自分が1年間通して「成長したな」って感じるのってどんなこと？

尾崎 患者さんの問題点や、予後を見据えることについては、自分で少しできるようになってきたのかな、って感じています。まだまだ、田村さんに相談して、アドバイスをもらいながらではありますが。

田村 うんうん。尾崎くんは最初、同期とだけ相談して問題を解決しようとするところもあったけど、今は何よりも周りの人とコミュニケーションを取れるようになったんで、そこがすごい良かったと思う。しっかりと報・連・相ができていて、むしろそこは僕も見習わないとあかんと思って(笑)。

尾崎 (笑)。やっぱりいろんな人と話をする中で、自分が見えていないところも見えてきますから。まだまだ自分の視野も狭いですし、自分が「これ」と思ったらそこに突き進んでしまうと思ったので、できるだけいろいろな人の意見聞いて、そこから判断しようということに心掛けていました。

田村 あとは尾崎くんが何事にもがむしゃらにがんばる姿を見て、自分の1年目の時のことを思い出したというか、それが刺激になって自分も成長できた気がする。同じチームのスタッフも刺激を受けたんじゃないかな。

尾崎 ありがとうございます！

田村 来年は新人のスタッフが入って、先輩になるけど、どんな意気込みかな。

尾崎 ついさっきまで自分が新人でしたし、気持ちはわかると思うので、なるべく同じ目線に立って、歩幅を合わせながら患者さんのことを一緒に考えられたらいいなと思います。

田村 尾崎くんは東京からこの病院に就職*したけど、大阪での生活はどう？(※尾崎PTは東京出身)

尾崎 東京とは言葉も文化も全然違う場所にきたので、最初は戸惑いましたけど、生活していくうちに慣れてきて、今では全然大丈夫になりました。

田村 じゃあ、大阪に来て、良いと思ったところはあるかな。

尾崎 大阪に来て感じたのは、スタッフも患者さんも人当たりが優しいです。東京が優しくないっていうことではないですよ(笑)。

田村 なるほど(笑)。じゃあ、プライベートで楽しかったことはある？

尾崎 せっかく新しい土地にきたので、いろいろ行きたい場所をリストアップしていたんですね。でも、コロナ禍でほぼぼぼ家にいるので、それだけでもうそこに行った気分になりました。

田村 気分だけでもね(笑)。どこに行ったの？

尾崎 難波に行きました。気分ですけど(笑)。田村さんは最近嬉しかったことは何ですか？

田村 プライベートだと、車を買ったことかな。大きな買い物をしたのが初めてやったから、達成感があったね！

尾崎 コロナ禍が終わったら、ぜひいろいろ連れまわしてください！

田村 はい(笑)。

作業療法でその人らしい生き方を支える！

OTの特長

作業療法の力で患者さんや利用者さん、そして平成医療福祉グループを元気にいきましょう！
当グループでは、医療・福祉の現場で、発達期から老年期の患者さん・利用者さんへの作業療法を行っています。

「鉛筆の持ち方が上手になりたい」「友達とたくさん遊びたい・遊んでほしい」「息子のところへ遊びに行きたい」「バスの運転手をしていた。できる限り仕事をしたい」すべての人にその人らしい生き方があります。

当グループでは、医療・福祉の現場で、発達期から老年期の患者さん・利用者さんがその人らしさを実現できるように、意味のある作業を追求し提供していくことを目指しています。

また、当グループの「絶対に見捨てないプロジェクト」である「目的をもった離床」「自分でトイレ」「口から食べる」に作業療法士が貢献しています。「寝たきりゼロ」を目指すことはもちろん「座らせきり」にならないようにするために、集団活動や自主練習などの活動を提案しています。



さらに、日常生活動作練習はもとより、福祉用具の導入や自助具の作成、提案など個別的なアプローチで「自分でトイレ」「口から食べる」を目指しています。

作業療法士として働き始めると、日常生活から社会生活まで幅広い領域で作業療法を提供することとなります。そのため、「作業療法として何ができるのか」「わたしは作業療法をちゃんとできているのか」と不安に感じることも少なくありません。しかし、そんなときでも大丈夫です！ 当グループには作業療法を理解し、高めようとしている仲間がたくさんいます。作業療法士のみなさん、その人らしい生き方を一緒に見つけて実現させましょう！

プリセプター × プリセプティ

作業療法士

対談

堺平成病院の作業療法士コンビにインタビュー。
笑いにあふれたテンポの良いトークから、仲の良さが伺えます！

※プリセプター：経験ある指導役の先輩スタッフ ※プリセプティ：新人スタッフ



先輩
プリセプター
岩崎 亜美
(経験年数6年)



後輩
プリセプティ
村田 和加奈
(経験年数2年)

岩崎 2年目に入ってどう？

村田 大変です。

岩崎 何が大変やった？

村田 レポートとか、業務とか…。学生時代と違って、患者さんの退院支援とか、患者さんのことを責任持って関わっていかないといけないところが1番大変でした。学生の時と違って、責任感を感じます！

岩崎 そこは難しいところよなー。私も学生の間は評価とか治療することに必死過ぎて、退院後のこととかあんまり具体的には考えられなかったけど、働きだしたときはその辺でものすごい頭抱えたなー。村田さんは就職してみてどう？ 大変やと思うけど、楽しく仕事できてる？

村田 はい！ 先輩方も気軽に声をかけてくれて、同期とも冗談言い合ったりできて楽しいです！

岩崎 先輩後輩とか関係なくみんな仲良しやもんな。飲み会とかもいっぱいあるし、ワイワイできる雰囲気でも働いて楽しい♪ そういえば、何でここに就職したん？ 家からちょっと遠いやんな？

村田 遠いですねー…。でも、学校の先生からの勧めもあって来ました。最初に見学したときとか、職員さん同士仲良くて、「私もこの一員として働きたい！」と思ってここに決めました！

岩崎 ほんまー！？ (笑)。でもそう言うてもらえるのは嬉しいわー。しょっちゅう遊びに出かけたりプライベートのつながりもけっこう多い気がする！ 村田さんは、この1年を通して「チームワーク取ってるなー」って思ったこととかある？

村田 運動会とか忘年会ですかね！

岩崎 あー、確かにー！ みんなイベント好きやから、常に真剣に取り組むもんね。

村田 先輩方も巻き込んで夜遅くまで近くの公園で練習したり小道具作ったりしたときに、「あー、チーム医療やな〜」って思いました (笑)

岩崎 いや、それは絶対嘘やろ！ (笑)。

村田 それはちょっと盛り過ぎたかもしれないです (笑)。でも、イベント事を通して先輩とか他の職種の人と関わる機会が増えて、そこでチームワークの大切さは感じました！

岩崎 そうやなー。イベント事はリハビリテーション部だけじゃなくていろんな職種の人と関われるいい機会になるもんな。そのチームワークを仕事でも発揮してってください！ そう言えば、村田さんは今後どんなOTになりたいん？ 理想像はある？

村田 担当した患者さんから「あなたで良かった」って思われるようなOTになっていきたいです。

岩崎 それはいい理想像やね。村田さんはいつも笑顔で、患者さんにもいっぱい元気のおすそ分けしてるイメージやから、きっと理想のOTになれるよ！

村田 がんばります！ 岩崎さんはどんなOTになりたいんですか？

岩崎 私は、患者さんを笑顔にしてあげられるようなOTになりたいな。

村田 素敵ですね！

岩崎 お互い理想のOTになれるように、これからも一緒にがんばっていきましょうね。

村田 はい！ これからも色々相談に乗ってください！

言語聴覚療法には癒しの力がある！

STの特長

当グループのSTスタッフは、いつでもどこでも誰とでも笑顔で接します。

そして、その笑顔には大きな癒しの力があります。

笑顔をきっかけに、スタッフに心を開き、リハビリテーションに励む患者さん・利用者さんの姿を見て、臨床に大事なことが何かを気づかされました。

家族や友達と美味しい食事を食べたり、会話をしたり、そんな当たり前の日常が奪われたら…その悲しみは図り知れません。入院・入所生活を送る方々からは「食事が楽しみ」「少しでも口から食べたい」とよく言われます。当グループの言語聴覚士はそうした願いに応えるべく、摂食・嚥下障害に対し積極的に訓練を行っています。同時に、豊富な食事内容を組み合わせることで、早い段階から「口から食べる」ことを目指しています。



言語聴覚士として言語障害や摂食・嚥下障害を抱える方々に寄り添い、励まし、持てる知識を活かすことで、少しでも笑顔が戻るなら、言語聴覚士としてこれほど嬉しいことはありません。臨床の場では悩みも多く、不安な気持ちで過ごすこともあります。そんな状況でも互いに支え合い、共に向上していこうとする仲間に出会えたことは、とても幸せだと感じています。これからもこの場所で、かけがえない仲間たちと、より一層良い仕事ができるよう、日々努力していきたいと思っています。

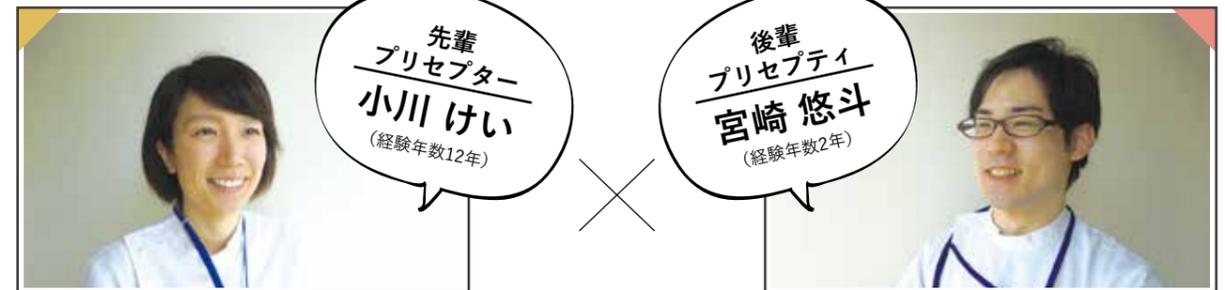
プリセプター × プリセプティ

言語聴覚士

対談

平成病院の言語聴覚士コンビにインタビュー。
熱き後輩のお悩みに、先輩からのやさしいアドバイス！

※プリセプター：経験ある指導役の先輩スタッフ ※プリセプティ：新人スタッフ



小川 就職して2年目だけど、これまでを振り返ってどう？

宮崎 淡路島にきたこともなくて、1人暮らしも初めてで本当に不安だらけでした。でも、今は環境にも慣れて少しゆとりを持って過ごせています。ただ、仕事は悩むことやわからないことも多くて、まだまだだと痛感しています。

小川 何も知らんところで、そりゃ初めは不安になるよな…でも仕事になったら、そんなことは感じさせへんくらい活き活きしとったよ。

宮崎 そうですか？ 仕事でも不安はありましたけど「なんと先輩方についていこう！」と必死な毎日でした。

小川 ほんまに必死にがんばっていたよね。でも、うまくいかない時もあるってプリセプターとしては「大丈夫かな？」って心配する場面もあったよ（笑）。

宮崎 やる気が空回っている場面もありましたね（笑）。

小川 仕事の悩み事とか、業務でわからないところは誰かに相談できよる？

宮崎 STの同期もたくさんいますし、同じ寮の先輩にも相談に乗ってもらっています。もちろん、小川さんにも話を聞いてもらっているので、一人でため込んでしまうことはないです。

小川 それなら良かった。リハビリスタッフへの相談はもちろん、他職種のスタッフとも話せるとたくさんのヒントがもらえると思うよ。

宮崎 本当にそうですね。今配属されている医療療養病棟は患者さんの入退院も多く、毎日変わる患者さんの状態を把握しながらのリハビリテーションは大変です。だからこそ悩み事があった場合は、病棟やリハビリスタッフと自分からコミュニケーションをとるように心がけています。

そのなかで、解決策やヒントを得ることはたくさんありますね。

小川 ホンマにそうやね。自分だけの視点になると考え方が偏ってしまっとうまくアプローチできなくなるから、他職種のスタッフに積極的に話しかけるのはいいね。でも、医療療養病棟の担当になることに、不安とか抵抗はなかった？

宮崎 回復期リハビリテーション病棟担当から、医療療養病棟担当になり…正直ギャップに悩むこともありました。でも今では、どんどん回復する時期を過ぎた患者さんでも、日々アプローチしていると改善点や小さな発見があり、やりがいを感じています！ 本当に少しずつですが、患者さんに変化が見られるようになって、次のステップに移るときは自分のことのように嬉しいです！

小川 重症の患者さんも担当するようになって以前と大分環境が変わったけど、その中でもやりがいを感じられるのは嬉しいな。患者さんが良くなるとこっちまで笑顔になるもんね。

宮崎 はい！ あと、練習のほかに、リスク管理や退院後の支援は難しいなーって思います。ただ、他職種のスタッフとディスカッションして、担当の患者さんが良くなり退院する姿を見ると「本当に良かったー！」と思います。

小川 いいねー！ この1年でセラピストとして、少しは成長したかな！？ これからは、後輩たちをしっかり引っ張って行ってね。あとはプライベートを充実させていかなアカンよ！

宮崎 これからもがんばっていきます！プライベートを充実させると、仕事もさらに充実するって言いますよね！仕事もプライベートも全力で楽しんでいきたいです！



リハビリスタッフの活躍の場はさまざま。
フィールドごとの特長をまとめました！

仕事のフィールド



1 回復期リハビリテーション病棟

脳血管障害や下肢の骨折を主な対象疾患として集中的にリハビリテーションを実施します。食事・排泄・移動などの生活動作の自立を支援し、在宅への復帰を目標としています。また、在宅生活へスムーズに移行できるよう早期から家屋調査を行い、環境に応じた個別性の高いリハビリテーションを提供します。



2 医療療養病棟

「維持期の患者さんには、リハビリテーションをしても変化がないのでは…」と思われがちですが、そんなことはありません。まだ改善できる余地はないか、生活場面で困っていることはないか、今が最大の能力なのかなど、あらゆる角度から可能性を探り、「絶対に見捨てない。」維持期のリハビリテーションを提供しています。



3 地域包括ケア病棟

急性期・地域・在宅の急変時の3方向から受け入れをする柔軟な病棟です。「急な入院で不安」「家に帰って大丈夫かな」など入院や在宅生活への不安をともに考え、さまざまな角度からリハビリテーションを行います。「地域包括ケア病棟があるから在宅での生活も安心！」とっていただけるよう、日々多職種で連携し、患者さんを支援します。



4 通所・訪問リハビリテーション

「外へ買い物に行きたい」「家でお風呂に入りたい」「食事をしたい」。通所・訪問部門では在宅生活の悩みに対してアプローチを行っていきます。利用者さんご家族の「想い」の実現に向けて機能回復練習はもちろんのこと、住環境の設定や動作指導などを行います。一つひとつのアプローチが在宅生活を劇的に変化させるきっかけとなり得ます。



5 外来リハビリテーション

小児から高齢者、スポーツ障害など対象が広範囲に渡るため、専門的な知識や技術はもちろんのこと、リハビリテーションへの探究心と情熱が欠かせません。効果的なリハビリテーションを追求し専門性を活かすことで、患者さんの社会復帰や在宅生活を支えます。そして何よりも患者さんが笑顔になれるようリハビリテーションを心がけています。



地域包括ケア病棟 スタッフの一日



堺平成病院
理学療法士
山本 汐音

訪問リハビリ スタッフの一日



てとてと岩国
理学療法士
渡里 祐哉

8:55 個別リハビリテーション



入院患者さんの身体機能評価を実施し、在宅復帰に向けた治療を行います。



8:30 ミーティング



ステーション全体朝礼、定期カンファレンス、申し送りを行います。



12:00 お昼休み



楽しみな昼食の時間！
味はもちろん、栄養面にも
しっかり考慮された食事です。



9:00 訪問リハビリ



一人につき週1~2回の頻度で実施しています。バイタル確認や問診などを行い、その日の状態や能力に応じて治療内容を選択して実施します。



12:00 お昼休み



腹が減っては仕事はできぬ！食事休憩にて午後からの英気を養います。

13:00 RIDL※アプローチとカンファレンス



退院後の生活を想定し、トイレ動作や更衣動作練習、看護師・介護士さんも含めたADL(日常生活動作)などの検討を実施しています。また、病棟専属の社会福祉士と、退院後の介護サービス等、患者さんが安全・安心な生活ができるように支援内容を話し合います。

※RIDL…Rehabilitative Intervention for Daily Living



13:00 訪問リハビリ



午前中同様、利用者さんの生活状況を確認しながらリハビリテーションを実施します。



16:00 担当者会議・カンファレンス



多くのサービス担当者が集まり、利用者さんがより良い生活を送れるよう意見を出し合います。



17:15 終業



セラピストとしての力量を上げるための勉強を行い自己研鑽を図るほか、趣味活動など、心身をリフレッシュすることも大切にしています。



17:00 終業



息抜きや勉強に使っています。ストレス発散の場も大切なので、仕事の後は趣味などに打ち込むことも。



充実の総合訪問サービス



“総合訪問サービスステーション”として、看護・リハビリテーション・介護・居宅スタッフが集結。リハビリテーション職として、利用者さんの在宅生活をサポートできるよう多角的視点を持ちながら、最適なサービスを提供します。



Group LIST

当グループは、東京・大阪をはじめ全国に病院・施設・学校を開設・運営しています。治療を終えた患者さん・利用者さんを早期に受け入れ、積極的な治療とリハビリテーションを行い、短期間で在宅復帰を目指します。今後は、世界にグループの医療を広めることを目的に、インドネシアで海外事業も展開予定です。

病院	26	特養	27
老健	11	介護医療院	2
グループホーム	9	ケアハウス	5
有料老人ホーム	12	小規模多機能	3
訪問サービス	12	通所サービス	7
居宅支援サービス	3	障害福祉施設	7
クリニック	2	学校	3

※開設予定も含む / 2022年3月現在

くわしくはこちら

平成医療福祉グループ



千葉県

- 印西総合病院
- ケアホーム船橋
- 訪問ステーションてととと印西
- 印西居宅介護支援センター

神奈川県

- 平成横浜病院
- ケアホーム三浦
- ヴィラ南本宿
- ヴィラ横浜
- ヴィラ桜ヶ丘
- ヴィラ神奈川
- ヴィラ都筑
- ヴィラ泉
- ケアホーム横浜
- 訪問ステーションてととと戸塚

東京都

- 世田谷記念病院
- 大内病院
- 多摩川病院
- 平成扇病院
- 緑成会病院
- 緑成会整育園
- ケアホーム足立
- 藤香苑
- ケアホーム千鳥
- ヴィラ町田
- ケアホーム板橋
- ケアホーム葛飾
- ケアホーム花畑
- ケアホーム練馬
- グループホームこもれび
- グループホームかりん
- 訪問ステーションてととと大岡山
- 訪問ステーションてとと小平
- サポートハウスココロネ板橋
- OUCHI CAFE・KITCHEN
- 聖和看護専門学校

大阪府

- 豊中平成病院
- 弥刀中央病院

- 泉佐野優人会病院
- 平成記念病院
- 淀川平成病院
- 堺平成病院
- 岸和田平成病院
- 淀川暖気の苑
- 離宮千里山
- ケアホーム豊中
- 弥刀介護老人保健施設
- エスペランサ
- レジデント豊中
- レジデント泉佐野
- メディケアハウス春木
- 優人会小規模多機能センター
- ハート訪問看護ステーション
- 訪問ステーションてととと東大阪
- 訪問ステーションてととと泉佐野
- 中央デイサービスセンター
- だんけのそのポレポレクラブ
- 海萌
- PALETTE
- おうち診療所堺

三重県

- ヴィラ四日市
- 富洲原複合型サービスセンター

和歌山県

- 緑風苑

兵庫県

- 平成病院
- 東浦平成病院
- 西宮回生病院
- 大原病院
- 南淡路病院
- 神戸平成病院
- ケアホーム住吉
- ヴィラ播磨
- ヴィラ一宮
- かおりの丘
- ケアホーム東浦
- ケアホーム南淡路
- ふるさとの家
- ヴィラ光陽

- 平成病院 平成介護医療院
- 東浦介護医療院
- グループホーム北淡
- ケアハウス有馬ホロンの苑
- ケアハウス淡路エルベ
- ケアハウス東浦エルベ
- レジデント東浦
- レジデント南淡路
- 訪問ステーションてととと洲本
- ココロネ淡路
- サポートハウスココロネ住吉
- 平成淡路看護専門学校
- 平成リハビリテーション専門学校

徳島県

- 博愛記念病院
- 徳島平成病院
- 江藤病院
- 浜病院
- ヴィラ羽ノ浦
- ヴィラ勝占
- ケアホーム鷲敷
- 平成アメニティ
- 明和苑
- グループホームはまど
- ケアハウスエルベ
- 岬ハウス
- レジデント勝占
- レジデント木津
- レジデント渭北
- メディケアハウス平成
- 有料老人ホーム蘭方
- 八万小規模多機能センター
- 南部訪問看護ステーション
- 平成ヘルパスステーション
- 訪問ステーションてととと徳島
- 平成デイサービスセンター鳴門
- デイサービスしおかぜ
- 那賀町鷲敷デイサービスセンター
- 平成デイサービスセンター渭北
- 平成在宅介護支援センター

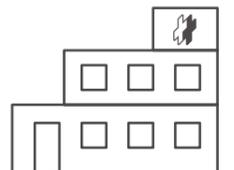
山口県

- 山口平成病院
- ヴィラ本郷

- ケアホーム山口
- へいせいホーム
- グループホーム本郷
- グループホームだんけぐーと
- グループホームだんけぐーと有延
- ケアハウス山口エルベ
- レジデント山口
- 平成小規模多機能センター
- 訪問ステーションてととと岩国
- 平成デイサービスセンター平田
- 平成デイサービスセンター黒磯
- 岩国市岩国第三地域包括支援センター

海外（インドネシア）

- HMW Rehabilitation Clinic



平成医療福祉グループの
病院・施設・学校紹介

Facilities Introduction



- 関東エリア_8
- 関西エリア_13
- 徳島・山口エリア_4 (2021年6月現在)



印西総合病院

<https://inzai-hospital.jp/>



当院は、平成医療福祉グループで唯一、千葉県にある総合病院です。千葉県印西市は人口が年々増加しており、幅広い世代の医療需要に応えられる医療、リハビリテーションが必要です。地域のみなさんの健康をサポートするべく、入院病床は全180床、在宅医療は外来リハビリ（成人・小児）、訪問リハビリ、通所リハビリの機能を有しています。入院から在宅まで関わることができ、療法士としてのスキルアップはもちろん、他職種とのチーム医療も学ぶことができます。



先輩からのメッセージ

「患者さんのための最善のリハビリテーション」を提供できることを目標としており、総勢約100名の療法士が日々の成長を支援し合っています。私たちと一緒に、最善のリハビリテーションを提供できるチームを作り上げていきましょう。



理学療法士
課長 佐藤 翔

スタッフ数
PT：72人 OT：17人 ST：5人 HT：1人

病床数
医療療養病棟：60床 回復期リハビリテーション病棟：85床 地域包括ケア病棟：35床

在宅サービス
通所リハビリ 外来リハビリ 訪問リハビリ



平成横浜病院



<https://yokohamahp.jp/>



当院は、総勢92名のリハビリスタッフが一人となり、急性期・回復期・慢性期まで幅広く充実した医療の提供を目指しています。回復期リハビリテーション病棟の増床やリハビリテーション室も新設し、質の向上に向け、院内勉強会や新人教育プログラムにも力を入れています。経験年数に関わらずスタッフ間のコミュニケーションを大切に、個性を活かしたチーム作りをモットーとし、日々チーム力向上を目指しています。



先輩からのメッセージ

興味分野に合わせた教育体制や個々の目標に合わせた指導を行い、スタッフの成長を全力でサポートしています。どこにも負けない「Teamwork」が当院にはあります！笑顔・活気あふれる平成横浜TEAMの一員になってみませんか？



作業療法士
課長 山勢 健太郎

スタッフ数
PT：64人 OT：19人 ST：9人

病床数
一般病棟：36床 回復期リハビリテーション病棟：97床 地域包括ケア病棟：50床

在宅サービス
外来リハビリ 訪問リハビリ



世田谷記念病院



<https://setagayahp.jp/>



回復期リハビリテーション病棟は、365日のチームアプローチでリハビリテーションを提供し、機能回復と日常生活動作の改善を図っていきます。地域包括ケア病棟は、急性期・在宅・施設からの患者さんを幅広く受け入れており、訪問リハビリでは、院内退院患者さんのフォローアップのほか、近隣地域から新規利用者さんの受け入れも行っています。また、院内各種勉強会や新人研修などの指導体制も整っており、多職種協働の考えを実践できる病院となっています。



先輩からのメッセージ

個性あふれるスタッフが100人以上いる病院です。各自さまざまな資格の取得を目指し、より質の高い医療を提供できるよう取り組んでいます。仲が良く、チーム医療が特長の当院で、一緒に研鑽しましょう！



理学療法士
部長代理 長谷川 奨斗

スタッフ数
PT：65人 OT：26人 ST：14人

病床数
回復期リハビリテーション病棟：107床 地域包括ケア病棟：39床

在宅サービス
外来リハビリ 訪問リハビリ

東京 大内病院



<https://oouchihp.net/>



東京都足立区にある認知症や精神疾患の治療を専門とする地域密着型の病院です。精神科医療の問題である長期入院・隔離や身体拘束・在宅支援の希薄を解決すべく、入院期間の短縮や在宅部門の強化に尽力しています。精神科作業療法（集団）と疾患別リハビリ（個別）を組み合わせ、精神・身体ともに患者さん一人ひとりに必要なリハビリテーションを提供しています。精神科医療の本来あるべき姿を目指し、さまざまな取り組みを行っております。



先輩からのメッセージ

2023年の大内病院建替えを機に、急性期機能を強化し、地域移行の促進を行います。チーム医療を実践し、患者さんがより良い状態で生き生き過ごせるよう、一緒に日本の精神科医療を変えていきましょう！



作業療法士
係長 伊東 光則

スタッフ数

PT：12人 OT：33人 ST：1人

病床数

精神科急性期治療病棟：38床（うち東京都指定病床：10床含む） 精神科病棟：242床（認知症病棟：50床） 地域移行機能強化型病棟：60床

在宅サービス

精神科デイ・ケア 精神科デイ・ナイトケア
重度認知症デイケア 精神科訪問看護 ACT

東京 平成扇病院



<https://ougihp.jp/>



当院は「こころも身体も診ることのできる病院」をコンセプトに、2016年に開設した病院です。急性期での治療後や在宅療養中に状態が悪化した患者さんを対象に、回復期リハビリテーション病棟、医療療養病棟で受け入れ、早期の在宅復帰を目指します。通常の疾患別リハビリ対象疾患はもちろん、精神疾患が基礎疾患である患者さんへの身体的アプローチにも取り組んでいるのが特長です。



先輩からのメッセージ

当院は「こころも身体も診ることのできる病院」です。精神疾患を伴う方に対して身体的な介入を行うことは難しい反面、学ぶことが多く、やりがいがあります。患者さんの生活を支えるべく一緒にがんばりましょう！



作業療法士
部長代理 高木 洋平

スタッフ数

PT：27人 OT：21人 ST：7人

病床数

医療療養病棟：60床 回復期リハビリテーション病棟：60床

在宅サービス

外来リハビリ 訪問リハビリ

東京 多摩川病院



<https://tamagawahp.jp/>



当院は東京都調布市において、回復期リハビリテーション病棟を有する唯一の医療機関です。入院部門は回復期リハビリテーション病棟・地域包括ケア病棟・医療療養病棟、在宅部門は訪問・通所・外来と、入院から在宅まで幅広くリハビリテーションを展開し、地域に根ざした医療を実践しています。患者さんの生活に合わせたリハビリテーションの提供に日々取り組んでいます。



先輩からのメッセージ

回復期等の入院のリハビリテーションだけでなく、訪問・通所・外来といったさまざまなリハビリテーションの経験を積むことができます。調布のみなさんに選ばれる病院を目指し、一緒に盛り上げていきましょう！



理学療法士
課長 佐々木 恭介

スタッフ数

PT：50人 OT：17人 ST：5人

病床数

医療療養病棟：60床 回復期リハビリテーション病棟：58床 地域包括ケア病棟：49床

在宅サービス

外来リハビリ 訪問リハビリ 通所リハビリ 通所介護

東京 緑成会病院



<https://ryokuseikai.or.jp/>



駅徒歩3分の立地にある地域多機能型病院です。回復期リハビリテーション病棟・医療療養病棟を有し、亜急性期から回復期・慢性期にかけ展開をしています。また、通所リハビリ、通所介護、訪問リハビリにて地域事業所などと連携し、利用者さんがより長く住み慣れた環境で生活が送れるよう支援しています。「自分を成長させ地域に活かす」を合言葉に、新人・社会人教育にも力を入れ、地域のみなさんの健康を守れるよう励んでいます。



先輩からのメッセージ

若手と中堅層が融合したエネルギーあふれる職場です。スタッフ一人ひとりが患者さんを思い、日々リハビリテーションに取り組んでいます。地域の方々の健康と笑顔を支える仕事をした方はぜひ、一緒に働きましょう！



理学療法士
部長代理 松本 徹也

スタッフ数

PT：50人 OT：18人 ST：10人

病床数

医療療養病棟：86床 回復期リハビリテーション病棟：60床

在宅サービス

外来リハビリ 訪問リハビリ 通所リハビリ 通所介護



緑成会整育園



<https://seiikuen.jp/>



当園は2016年10月に移転・増床を行い、一般病床100床の医療型障害児(者)入所施設に生まれ変わりました。リハビリテーション部には理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士が所属しており、入所、外来診療、通所と通園利用者さんへのリハビリテーションを行っています。また、市の発達検診と特別支援学校へ指導員を派遣しております。一人ひとりの利用者さんの生活と笑顔を支えるため、日々取り組んでいます。



先輩からのメッセージ

利用者さんの生活と笑顔を支えるため、日々リハビリテーションに取り組んでいます。笑顔を引き出すことの難しさを知ったからこそ、笑ってもらえることが本当に嬉しいです。ぜひ一緒に働きませんか？



理学療法士
課長 石橋 哲弥

スタッフ数

PT：16人 OT：11人 ST：7人

病床数

一般病床：100床

在宅サービス

外来リハビリ



豊中平成病院



<https://toyonakahp.jp/>



患者さんが本人らしく元気になれることを目標に、リハビリ指導医のもと「質」と「量」にこだわったリハビリテーションを実践する回復期リハ病棟（43床）、QOLを重視した医療療養病棟（58床）を揃えるほか、退院後のフォローアップとして、通所リハビリ・外来リハビリ・訪問リハビリがあり、老人保健施設も併設しています。各部門の特色を活かしながら、個々のニーズに合わせた専門的なリハビリテーションが実践できるように取り組んでいます。



先輩からのメッセージ

当院は熱心なリハビリ指導医のもと、プロフェッショナルとして必要な知識・技術の習得ができます。患者さんが笑顔で元気に退院できるよう、一緒に力を合わせて邁進していきましょう！



理学療法士
係長 伊藤 正人

スタッフ数

PT：30人 OT：11人 ST：6人 HT：2人

病床数

医療療養病棟：58床 回復期リハビリテーション病棟：43床

在宅サービス

外来リハビリ 通所リハビリ



弥刀中央病院



<https://mitohp.jp/>



当院は大阪府東部の中核病院です。リハビリスタッフは病院だけでなく、隣接の老健、デイケア、訪問ステーションなどで活躍しています。院内・施設での療養、在宅への復帰、その後の在宅生活の継続など、患者さん・利用者さんのニーズをしっかり捉え、個々に適したリハビリを提供するように心がけています。一人ひとりの生活を長期間支える存在でいられるのも、当院のリハビリテーション部の特長の一つです。



先輩からのメッセージ

セラピストに求められる知識・技術は多様化しています。患者さんとしてしっかり向き合い、その思いに応えるために、スタッフみんなで協力しながら、日々励んでいます。アットホームな職場で、一緒に成長しましょう！



作業療法士
副主任 志水 俊介

スタッフ数

PT：8人 OT：4人 ST：2人

病床数

医療療養病棟：107床



泉佐野優人会病院



<https://yujinkai.or.jp/>



「地域への貢献と病院の発展に寄与し、病院を牽引できるリハビリテーション部にしよう」を部の方針として、54名のセラピストが在籍しています。地域とのつながり、地域住民の健康維持、リハビリテーションの質の向上、多職種連携の強化をリハビリテーション部の柱としています。回復期リハビリテーション病棟、医療療養病棟、外来リハビリ、通所リハビリ、訪問リハビリと幅広いリハビリテーションを提供しており、地域に根差した病院を目指しています。



先輩からのメッセージ

思いやりとやる気いっぱいの仲間が集まっています。嬉しいこと、悲しいこと、楽しいこと、辛いこと、共有しながら一緒に成長していきたいと思っています。患者さんや利用者さんの笑顔のために、一緒に働きましょう！



作業療法士
課長 泉谷 佑美

スタッフ数

PT：32人 OT：13人 ST：9人 HT：1人

病床数

医療療養病棟：228床 回復期リハビリテーション病棟：37床

在宅サービス

外来リハビリ 訪問リハビリ 通所リハビリ



平成記念病院



<https://heisehp.jp/>



当院リハビリテーション科は、1-15年目のキャリアを持ったスタッフが連携しながら業務にあたっています。入院直後からできるだけ早期に離床を行い、ADL・運動機能・認知機能・嚥下機能などの維持・向上を図りながら、もとの施設や自宅に早期に退院ができるよう、他部署のスタッフと協力して取り組んでいます。



先輩からのメッセージ

当院は地域密着型病院として、患者さん個々のニーズに応える、ベストなリハビリテーションの提供に本気で取り組んでいます。プロフェッショナルとして患者さんに寄り添い、笑顔にできる楽しい職場を一緒に作りましょう！



理学療法士
課長 隠田 良祐

スタッフ数

PT：11人 OT：7人 ST：3人

病床数

医療療養病棟：100床



堺平成病院



<https://sakaiheisei.jp/>



当院には100名を超えるセラピストが在籍しています。地域密着型多機能病院として、120床の回復期リハビリテーション病棟をはじめ、地域包括ケア病棟、障害者病棟、医療療養病棟を兼ね備えています。また、併設の在宅支援ビルでの訪問リハビリや通所リハビリにも力を入れています。自分の可能性は無限大です。当院のさまざまなステージで自分の可能性を試してみませんか？共に成長し、喜びを分かち合える、そんな病院を目指しています。



先輩からのメッセージ

患者さんに真剣に向き合う仲間が集まる堺平成病院では、お互いに切磋琢磨し研鑽を重ねています。大阪府堺市中央区の中心にあり、利便性が高いのも特長です。新しく開院したばかりの堺平成病院で一緒に働きましょう！



理学療法士
課長 山崎 秀平

スタッフ数

PT：79人 OT：13人 ST：12人 HT：1人

病床数

医療療養病棟：56床 回復期リハビリテーション病棟：120床 地域包括ケア病棟：60床 障害者病棟：60床

在宅サービス

外来リハビリ



淀川平成病院



<https://yodogawahp.jp/>



大阪市東淀川区唯一の回復期リハビリテーション病棟を有する病院です。地域医療の中核を担う病院として、入院中のリハビリ・外来リハビリ・訪問リハビリを十分に提供できる環境を整えています。セラピストも50名以上在籍し、活気あふれる職場となっています。チームアプローチを重要視し、患者さん・利用者さんに何ができるのかを考え、その中で個々に合わせた専門的なリハビリテーションが実践できるように取り組んでいます。



先輩からのメッセージ

当院は2020年開院のフレッシュな病院ですが、ベテランから若手まで多くのスタッフが在籍しています。地域から信頼され愛される病院を目指して、日々奮闘中です。楽しく笑顔あふれる職場で、共に成長してきましょう！



理学療法士
主任 植田 裕子

スタッフ数

PT：32人 OT：17人 ST：7人

病床数

回復期リハビリテーション病棟：76床

在宅サービス

外来リハビリ 訪問リハビリ



岸和田平成病院



<https://kishiwadahp.jp/>



当院には、約45名のセラピストが勤務しており、回復期リハビリテーション病棟、在宅復帰機能強化型療養病棟、通所介護、外来リハビリ、訪問リハビリと幅広く活躍の場が用意されています。みなさんの学びたい気持ちに応えられるよう、院内勉強会を多く開催するほか、更に外部勉強会への参加も積極的に推奨し、勉強したい方にとって満足できる環境づくりに努めています。また、専門性の教育に留まらず、自立した社会人を育てられるよう、社会人教育に力を入れているのも特長です。



先輩からのメッセージ

新人教育では「見せて、認めて、任せて、褒める」を実践し、患者さんの未来と一緒に作っているスタッフを育成しています。自分たちの未来も一緒に作っている仲間を募集中です。元気なスタッフを待っています！



言語聴覚士
係長 岸本 裕佑

スタッフ数

PT：29人 OT：9人 ST：5人

病床数

医療療養病棟：104床 回復期リハビリテーション病棟：45床

在宅サービス

外来リハビリ 訪問リハビリ 通所介護



平成病院



<https://heiseihp.jp/>



「この病院でよかったと言ってもらえる医療を」をスローガンに、地域中核病院として入院・外来・老健・介護医療院・訪問・通所と包括的なリハビリテーションを展開しています。また、小児リハビリテーションやロボットリハビリにも力を入れています。患者さんへ最善のサービスが提供できるように、一人ひとりの個性と感性を活かし、プロ集団としてPT・OT・STの枠を超えた総合的なリハビリテーション科を目指しています。



先輩からのメッセージ

一人ひとりのやりたいことが叶えられる環境を提供し、個性や感性を伸ばしていきたいです。やりがいを持って楽しく働くことが、最善のサービスにつながると信じています。働きながら楽しく学びたい方をお待ちしています。



理学療法士
係長 河内 佑哉

スタッフ数

PT: 32人 OT: 15人 ST: 10人 HT: 1人

病床数

医療療養病棟: 107床 回復期リハビリテーション病棟: 38床 地域包括ケア病棟: 10床 介護医療院: 13床

在宅サービス

外来リハビリ 訪問リハビリ 通所リハビリ



東浦平成病院



<https://higashihp.jp/>



淡路島の北端にある当院は、地域支援病院として回復期リハビリはもちろん、小児リハビリやスポーツリハビリ、訪問・通所リハビリを行っています。入院中から在宅復帰を目指し、小児から高齢者まで幅広い視野を持ったリハビリスタッフを育成することを目標に、積極的に他職種と協働しながら、学生の方を受け入れています。これからも患者さんの回復をサポートし、豊かな生活を継続できるように努力してまいります。



先輩からのメッセージ

当院は回復期・小児・スポーツ・通所・訪問など、さまざまな場面でリハビリテーションを提供しています。「その人らしく笑顔で」を目標に、患者様に寄り添うリハビリテーションに取り組める方をお待ちしています。



理学療法士
係長 宮田 貞生

スタッフ数

PT: 41人 OT: 20人 ST: 17人

病床数

医療療養病棟: 120床 回復期リハビリテーション病棟: 60床 障害施設等一般病棟: 59床

在宅サービス

外来リハビリ 訪問リハビリ 通所リハビリ



西宮回生病院



<https://kaiseihp.jp/>



1907年に創立し110年以上続く歴史ある病院で、人工関節や骨切り術などの整形手術を中心にを行っています。リハビリスタッフは総勢約90名以上在籍しており、術後の入院リハビリを中心に、外来ではスポーツ・小児リハビリ、介護部門では訪問・通所リハビリと幅広い分野のリハビリを提供しています。各分野に特化したセラピストが在籍し、後進の育成にも力を注ぐことで、より質の高いリハビリが提供できるよう日々取り組んでいます。



先輩からのメッセージ

若いスタッフが多く活気がある病院です！スタッフ数が多いためお互いをフォローしやすく、先輩後輩関係なくみんなで協力しながら精進しています。思いやりがあり、やる気に満ちた方をお待ちしています！



作業療法士
係長 田山 大介

スタッフ数

PT: 66人 OT: 17人 ST: 10人

病床数

一般病棟: 46床 (うち地域包括ケア病床10床含む) 回復期リハビリテーション病棟: 76床

在宅サービス

外来リハビリ 訪問リハビリ 通所リハビリ



大原病院



<https://ohara-hosp.jp/>



阪神出屋敷駅から徒歩3分、尼崎市にある医療療養病棟72床を有する病院です。慢性期リハビリを中心に、医療保険で入院・外来リハビリ、介護保険で訪問リハビリを提供しています。根気強く、心に寄り添ったリハビリテーションの提供を念頭に、患者さんが本人らしく元気になることを目指して、個々にあったリハビリテーションを提供しています。



先輩からのメッセージ

他職種とのコミュニケーションを密に取りながら、その人らしい生活が送れるように試行錯誤してみませんか？ 経験のあるスタッフとともに成長できるように歩んでいきましょう。



理学療法士
課長 樋笠 重和

スタッフ数

PT: 10人 OT: 4人 ST: 2人

病床数

医療療養病棟: 72床

在宅サービス

外来リハビリ 訪問リハビリ



南淡路病院



<https://minamihp.jp/>



淡路島南部の自然に囲まれた当院は、認知症治療病棟、精神療養病棟、医療療養病棟を備えた病院で、介護老人保健施設や重度認知症患者通所リハビリなども併設しています。淡路島南部で唯一の精神科を有する病院として、SST（ソーシャルスキルトレーニング）や精神科作業療法、認知症患者さんへの個別リハビリなど、精神疾患を抱える方々への支援を充実させています。また、地域貢献のためリハビリ教室を開催し、院外へも活動の場を広げています。



先輩からのメッセージ

患者さん一人ひとりに適したアプローチ方法を多職種で検討し、その人らしく生活ができるよう支援しております。「こころもからだも元気に」できるリハビリスタッフになれるよう、一緒に成長しましょう！



理学療法士
課長 長岡 朋

スタッフ数

PT：14人 OT：9人 ST：2人 HT：1人

病床数

医療療養病棟：85床 認知症治療病棟：43床 精神療養病棟：42床

在宅サービス

外来リハビリ 重度認知症患者デイケア



神戸平成病院



<https://kobehp.jp/>



当院は神戸市中央区に位置し、都市部からのアクセスも良好です。回復期リハビリテーション病棟44床、一般病棟20床、地域包括ケア病床36床を有しています。外来リハビリ、訪問リハビリも提供しており、亜急性期から在宅復帰までのリハビリ支援を行っております。「誰もが誰にでも良質なリハビリテーションを提供し、神戸から日本を変える」というミッションを掲げ、実現して参ります。



先輩からのメッセージ

ミッションを実現していくためには、一人の力では達成できません。スタッフみんなで力を合わせて実現していきたいと思っています。共にミッションをやり遂げたい方をお待ちしております！



理学療法士
課長 徳嶋 慎太郎

スタッフ数

PT：35人 OT：11人 ST：8人 HT：1人

病床数

一般病棟：20床 回復期リハビリテーション病棟：44床 地域包括ケア病床：36床

在宅サービス

外来リハビリ 訪問リハビリ



博愛記念病院



<https://hakuaihp.jp/>



当院は、地域の医療・介護を支える大規模多機能的な病院であり、患者さんへ最適なりハビリテーションを提供し、早期退院を目指しています。県士会活動にも積極的に参加し、臨床で求められる多くの知識や手技などを取得している経験豊富なスタッフも多く在籍しています。また、ロボットスーツHAL®、機能的電気刺激装置ウォークエイドなど最新機器を導入し、新しいことにチャレンジし続けています。



先輩からのメッセージ

患者さんに親身に寄り添い、回復の道へ導くために私たちとともにぜひ、プロフェッショナルを目指して邁進していきましょう！笑顔と元気があふれる「あなた」をスタッフ一同、心よりお待ちしております！



理学療法士
主任 高田 昌寛

スタッフ数

PT：49人 OT：20人 ST：10人 HT：1人

病床数

医療療養病棟：40床 回復期リハビリテーション病棟：60床 地域包括ケア病棟：53床 障害者施設等一般病棟：57床

在宅サービス

外来リハビリ 訪問リハビリ 通所リハビリ



徳島平成病院



<https://tokushimahp.jp/>



当院では「地域にとけ込み地域からの信頼に応える病院を目指します」を目標に、入院中は集団リハビリや余暇活動など離床への取り組みや、摂食・嚥下リハビリ、スポーツリハビリやロボットリハビリも行っており、リハビリ専門職としてさまざまな角度から患者さんにアプローチサポートしています。退院後も外来リハビリ、訪問リハビリ、通所リハビリを通じて関わりを持ち、地域に住む方が安心して生活できるように取り組んでいます。



先輩からのメッセージ

当院は全て地域包括ケア病棟ですが、急性期病院からの患者さんが多く、回復期リハ病棟に近い役割も担うため、さまざまな経験ができる環境と言えます。患者さんを元気にしたい！そんな意欲的なスタッフをお待ちしています。



作業療法士
係長 浜中 貢輔

スタッフ数

PT：18人 OT：6人 ST：1人

病床数

地域包括ケア病床：51床

在宅サービス

外来リハビリ 訪問リハビリ 通所リハビリ



江藤病院



<https://etouhp.com/>



「優しい病院」という経営理念のもと、地域のみなさんの在宅生活を支えるために2017年に新築移転しました。急性期治療を終えた患者さんや、病状の悪化により在宅生活の継続がどうしても難しくなった患者さんの受け入れを中心に、在宅生活の再開に向けてロボットリハビリ、嚥下リハビリなど専門性の高いリハビリテーションを提供しています。退院後も通所リハビリ・外来リハビリ・訪問リハビリ部門の展開により、切れ目のない関わりに取り組んでいます。



先輩からのメッセージ

当院の経営理念である「優しい病院」はスタッフに対しても同様です。江藤病院で良かったと思っただけのようなリハビリテーションを提供し、長く一緒に地域の医療・介護を支えていけるスタッフを募集しています。



言語聴覚士
係長 榎本 卓也

スタッフ数

PT：22人 OT：15人 ST：4人

病床数

医療療養病棟：31床 回復期リハビリテーション病棟：30床 地域包括ケア病棟：31床

在宅サービス

外来リハビリ 訪問リハビリ 通所リハビリ



山口平成病院



<https://yamaguchihp.jp/>



当院は豊かな自然に囲まれた環境のなか、地域に密着した医療の提供を行っています。回復期リハビリテーション病棟、医療療養病棟、訪問・通所リハビリと、回復期～生活期までリハビリテーションを幅広く実施しており、多岐に渡るステージで活躍の場があります。地域のみなさんが安心できる地域医療の確立を目指し、地域に溶け込み、地域からの信頼に応えられるよう、親切・丁寧で積極的なリハビリテーションの実施を心掛けています。



先輩からのメッセージ

地域になくてはならない病院として、スタッフ一人ひとりが患者さんの自分らしさを取り戻すためにリハビリテーションを行っています。「あなたの個性」で「患者さんの強みを活かすリハビリテーション」を一緒に実践しましょう。



理学療法士
係長 神田 勇樹

スタッフ数

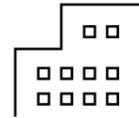
PT：27人 OT：14人 ST：4人 HT：1人

病床数

医療療養病棟：104床 回復期リハビリテーション病棟：46床

在宅サービス

外来リハビリ 訪問リハビリ 通所リハビリ



関東施設

■介護老人保健施設 1
■介護老人福祉施設 14
■その他施設（グループホームなど） 8
(2021年6月現在)

当グループでは特養施設にも専従のリハビリスタッフを配置し、リハビリテーションに力を入れています。機能改善や残存機能を活かしたADL(日常生活動作)訓練はもちろん、「人との関わり場の提供、能力の発揮、リズムある生活の構築、生きがいと生活満足度の向上」などを目的にグループ活動やクラブ活動、季節の行事なども実施しています。関連病院や関連施設との研修会も定期開催しており、「顔の見える仲間づくり」を目指しています。ともに利用者さんに寄り添い、素敵な施設を作りましょう。



▶ 主な施設紹介 ◀



介護老人福祉施設 ヴィラ都筑

身体の状況や嗜好に配慮した食事、寝たきりの方でも入浴可能な機械入浴を用意しており、一人ひとりに合った丁寧な介護をいたします。また、身体機能の保持・回復のためリハビリスタッフによるリハビリテーションを提供しています。



介護老人福祉施設 ケアホーム板橋

体操やリハビリテーション、クラブ活動などの豊富なプログラムを提供し、季節ごとのイベントを企画しています。介護福祉士や看護師など専門スタッフのサポートを受けながら充実した生活を過ごしていただけるよう支援しています。

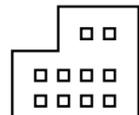


介護老人保健施設 ケアホーム横浜

利用者さんには優しさと思いやりの心で接し、その人らしく穏やかに過ごしていただけるようお手伝いいたします。全室個室でプライバシーを大切にしており、ご満足していただけるリハビリテーションの提供に努めているのが特長です。

病院のリハビリテーションとは、何が違うの？

- 1 単位など時間の制限がありません。**
リハビリテーションが必要な利用者さんに、必要な分のリハビリテーションを提供します。
- 2 生活期（慢性期）のリハビリテーションを行います。**
QOL（生活の質）へのアプローチも大切な役割。1人の利用者さんを長い期間支援していきます。
- 3 利用者さんの全体を把握できます。**
リハビリスタッフの人数は、施設の規模に合わせて2～5人。専門分野だけでなく全体を把握することができます。
- 4 多職種でのチームとしてのアプローチがより重要です。**
病院よりもリハビリスタッフが少ないため、多くの職種が常に協力して利用者さんを支援する機会が多くあります。



関西・中四国施設

■介護老人保健施設 11
 ■介護老人福祉施設 9
 ■その他施設（グループホームなど） 41
 (2021年6月現在)

関西・中四国エリアのリハビリスタッフの活躍の場は、特養・老健をはじめ、障害者支援施設、小規模多機能センター、グループホーム、訪問リハビリなど多岐に渡って存在します。私たちは常に利用者さんの“生活”を考え取り組んでいます。また月1回、各施設のリハビリスタッフが集まり、テーマに沿った勉強会を開催するなど学術面についても日々研鑽しています。一緒に利用者さんの“生活”を考えてくれる仲間をお待ちしています。



▶ 主な施設紹介 ◀



介護老人福祉施設 かおりの丘

淡路島の緑豊かな環境を活かしたレクリエーションの提供やイベント活動に力を入れています。専門スタッフの仲間たちと協力し、日常生活や生活範囲の環境を整えることで、利用者さんを支援します。



介護老人福祉施設 ケアホーム住吉

2021年4月に新規開設したユニット型の施設です。リハビリテーションの提供により身体機能の回復や維持を図ります。また、ほかの専門職とともに、利用者さんらしい毎日を過ごしていただけるようサポートします。



介護老人保健施設 ふるさとの家

音楽療法士による音楽クラブなど、各専門職の特性を活かしたリハビリテーションを行い、利用者さんの能力を引き出すサポートをしています。イベント等も企画し、日常生活に楽しみを提供できるように努めています。

施設スタッフの1日

9:00 ミーティング・朝礼・申し送り
 申し送りをチェックし、利用者さんの状況・一日のイベント・入退所などを共有します。

9:15 朝の筋トレ体操～個別機能訓練
 10人程度のグループで朝の体操を行います。その後、個別訓練へと移行します。

11:00 新規入居者さん初期評価
 入浴時の注意点などADLを評価し、介助方法を決定・伝達します。

11:20 個別機能訓練～リハビリ実施記録
 利用者さんの昼食摂取時の様子もチェックします。その様子を含め、電子カルテに記録します。

12:40 お昼休憩
 お昼休憩では、スタッフと談笑しながら楽しく昼食をとり、パワーチャージします。

14:00 クラブ活動～個別機能訓練
 書道など、講師のボランティアさんと協力して行います。毎回利用者さんの集中力には驚かされます！

16:30 訓練計画書作成～リハビリ実施記録
 担当利用者さんの記録を電子カルテへ入力、また訓練計画書などその他の書類を仕上げます。

17:00 清掃・後片付け
 後片付けの後、明日のスケジュールを確認し退勤。明日もがんばるぞー！

施設スタッフは、病院スタッフよりも一人ひとりの利用者さんと向き合う時間が長いのが特長です！



学校



平成リハビリテーション専門学校

<https://heisei-reha.jp/>



博愛精神・豊かな感性・確かな技術という3つの基本理念を基礎とし、知識・技術の指導に偏らず、医療人に必要な人間性も含めて、学生をいかにして成長させるかを考え教育を行っています。また、グループ教育機関としてのメリットを活かして病院に出向き、卒後教育と新人教育を目的として、新人リハビリスタッフの指導と相談に乗っています。臨床で直面する個々の症例に応じた評価立案・評価実施・ゴール設定・プログラム立案・実施についてアドバイスをします。臨床現場で感じるさまざまな問題や悩みなどがあれば、いつでも声をかけてください。私たちが全力でサポートします。



▶ 取り組み紹介 ◀



オープンキャンパス

リハビリテーションに興味がある高校生や社会人の方に、職業の素晴らしさを伝え、一緒に夢を叶えます。



授業風景

体験して学ぶ。学生が前のめりがかぶりつく講義！ そんな講義になるように日々切磋琢磨しています。



臨床指導の様子

卒業後も教育は続きます。実際の臨床場面で新人中心に直接指導することで「活きた教育」を行います。

専任教員

臨床を5年以上経験すると専任教員として勤務することも可能となります。自分が臨床で学んだことを学生指導に生かすことができ、学生教育を通し自らも学び成長することができます。

理学療法学科 昼間部3年制／定員35名

作業療法学科 昼間部3年制／定員30名

言語聴覚療法学科 昼間部3年制／定員20名

取得資格・論文掲載・学会参加実績

1 各種取得資格

当グループには、PT・OT・STの国家資格取得後も、自己研鑽を常に怠らないスタッフが多数在籍しています。自身のスキルアップはチーム力の向上につながります。そしてその目的はただひとつ、患者さん・利用者さんへの還元です。以下に紹介する資格はスタッフが保有するもののほんの一部です。

主な資格

- 資格手当対象 呼吸療法認定士(97名)、糖尿病療養指導士(56名)、心臓リハビリテーション指導士(2名)、摂食嚥下リハビリテーション認定士(11名)、認定理学療法士(75名)、認定作業療法士(1名)、認定言語聴覚士(5名)
()内は2021年6月時点の取得者数
- その他の取得資格
 - ・介護支援専門員、認知症ケア専門士、赤十字救急法救急員、BLSヘルスケアプロバイダー、福祉住環境コーディネーター
 - ・PNF、認知神経リハビリテーション、その他各種テクニック コース修了者 など

2 論文掲載実績 (2020年度)

学会発表に加え、書籍への論文投稿も推奨しています。学術研鑽に関しては、今後もさらに取り組んでいく予定です。

掲載実績

- ・日本排尿機能学会誌『高齢者の下部尿路機能障害に対するリハビリテーション』 細川雄平 (平成リハ学校)
- ・日本早期離床学会誌 早期離床『療養病棟での離床時間増加が身体機能および誤嚥性肺炎のリスク因子に与える効果』 三浦亜純 (多摩川病院)
- ・総合リハビリテーション『排尿リハビリテーションの臨床的効果：多施設共同ランダム化比較試験』 津江尚幸 (山口平成病院)
- ・全日本病院協会雑誌『脳卒中片麻痺患者の歩行障害に対する2種類のロボットリハの同時併用効果』 高田昌寛 (博愛記念病院)
- ・日本慢性期医療協会誌 131vol.28『「地域に選ばれる病院になるために」徳島平成病院リハビリテーション科の取り組み～地域に根付いたリハビリテーションを目指して～』 浜中貢輔 (徳島平成病院)
- ・日本臨床スポーツ医学会誌 28巻第2号『足関節に対するテーピングが体幹安定性に及ぼす影響』 島本大輔 (西宮回生病院)
- ・日本慢性期医療協会誌 128vol.28『地域医療における当院の慢性期リハビリテーションとしての関わり方・役割』 内田拓也 (江藤病院)
- ・日本慢性期医療協会誌 133vol.29『都心部における在宅療養支援』 長谷川奨斗 (世田谷記念病院)
- ・Clinical Interventions in Aging『Submental Muscle Activity and Its Role in Diagnosing Sarcopenic Dysphagia』 堺琴美 (世田谷記念病院)

3 学会参加実績

2020年度だけで、全国のさまざまな学会で160以上の演題発表の実績があります。論文掲載と同様、学会参加も今まで以上に取り組み、スキルアップにつなげていきます。

学会実績

日本慢性期医療学会／慢性期リハビリテーション学会／平成医療福祉グループ学術大会／日本理学療法士協会 全国学術研修大会／日本作業療法学術大会／脳機能とリハビリテーション研究会学術集会／日本リハビリテーション医学会学術集会／全国褥瘡学会／日本吃音・流暢性障害学会／日本音声言語医学会／日本摂食嚥下リハビリテーション学会／日本サルコペニア・フレイル学会／日本心臓リハビリテーション学会学術集会／日本高次脳機能障害学会／日本言語聴覚士学会／日本人工関節学会 など

※上記は2018年～2021年に参加した学会です。

就職に関するQ&A

question 1 配属部署は希望できるのですか？

answer

新卒者につきましては、基本的に1年間は回復期リハビリテーション病棟配属が多いです。しっかりと評価・治療を行い、在宅復帰までの流れを経験していただき、そのなかでチームアプローチを学んでいただきます。配置変更は、基本的に1年間隔での検討となっており、面談などで希望をお聞きします。ただし、状況に応じた配属となるため、希望が通るとは限りません。ご了承ください。

question 2 休みはどのように設定されますか？

answer

月ごとに公休の数が決まっています。ほとんどの病院でシフト制をとっているため、日曜や祝日が必ずしも休みにはなりません。ただし、月に数日は希望した日にお休みが取れるようになっています。また、夏休みが3日間・冬休みが3日間あります。加えて、有給休暇の取得も可能です。

question 3 グループ内での転勤などはありますか？

answer

近隣の病院や施設との間で、人事交流を兼ねての研修異動があります。ただし、6ヵ月～1年の期間限定での取り組みですので、終了後は元の勤務地へ戻ることが前提です。全国展開の強みとして、諸事情(結婚など)で県外へ行くといった場合でも、引っ越し先付近に関連病院があれば、そちらへ転籍することも可能です。

福利厚生など

休日・休暇

4週8休・夏季休暇3日・冬季休暇3日(年間休日110日)、有給休暇：初年度10日(最高20日)、慶弔休暇・産前産後休暇・育児休暇・介護休暇

待遇

退職金制度有(勤続3年以上)、賞与(年2回)、給与見直し(年1回)、役職手当、皆勤手当、時間外手当、通勤手当支給(規定あり)

福利厚生

各種保険完備(健康・厚生・雇用・労災)、職員食堂(管理栄養士監修)完備、福利厚生サービス「福利厚生倶楽部」(宿泊施設・スポーツ施設・リラクゼーション施設等の利用時優待)、契約保養所(エクシブ)、人間ドック利用補助制度(規程あり)、外部カウンセリングサービス、無料託児所(施設による)、送迎バス(施設による)、マイカー通勤可(施設による)

支援プログラム

グループ学会参加可、各種研修会、外部研修費用全額補助(規定あり)

※ 病院・施設により規定内容が異なる場合や、利用できないものもあります。また、職種により待遇内容が異なる場合があります。なお、内容は規定改変により変更されることがあります。くわしい内容は各施設にお問い合わせください。



お問い合わせ  



グループサイト
<https://hmw.gr.jp/>

平成医療福祉グループ 



 facebook @HMW.group

 Instagram @hmw_group



平成医療福祉グループ
HEISEI MEDICAL WELFARE GROUP